

科目名	美容技術理論	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	神谷 明日香
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日1限 月曜日2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師国家試験の合格を目指す学生の為、現場の状況を伝えながら、美容技術の知識を深めていく。 1年生で学習した内容を振り返り、知識を現場で活用することができる。							
<教員経歴> ヘアサロンにて美容師として勤務していた教員が担当。その経験をもとに現場の経験を伝えながら美容技術の知識を深めていく。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師国家試験の合格を目指し、各分野の美容技術を理解できるようになる。国家試験問題に対応できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行 美容技術理論Ⅱ							
回	授業概要					テスト配点	
1	8章 エステティック概論						
2	9章 ネイル技術					5点	
3	10章 メイクアップ						
4	まつ毛エクステンション概論					5点	
5	11章 日本髪						
6	12章 着付け						
7	美容技術理論Ⅱ総復習						
8	中間テスト					中間テスト20点	
9	中間テスト振り返り、復習、確認						
10	美容技術理論Ⅰ総復習					5点	
11	美容技術理論Ⅰ総復習						
12	美容技術理論Ⅰ総復習					5点	
13	美容技術理論Ⅱ総復習						
14	美容技術理論Ⅱ総復習						
15	定期テスト					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	衛生管理	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	島津 美幸
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日1限 月曜日2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
目的:不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて行う美容業務。その業務に就くうえで個人としての衛生を保つ事は元より、感染症の予防、衛生措置の重要性を学ぶ。							
<教員経歴> 臨床経験を持つ教員が、その知見をもとに授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
衛生管理の意義と本質を明らかにする。国家試験科目でもあるため、各項目の重要点をまとめたプリントや問題集を用いてより理解を深める。また、問題集等を利用して苦手箇所を反復し克服する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行 衛生管理							
回	授業概要					テスト配点	
1	講師自己紹介、オリエンテーション、授業科目の概要や進め方、公衆衛生の概要						
2	公衆衛生の課題と領域《美容師と公衆衛生、保健所と美容業》					5点	
3	復習・保健《母子保健(出生率の低下)・母子の健康管理》・小テスト						
4	復習・保健《成人・高齢者保健(死亡率の低下・平均寿命の延び)》					5点	
5	復習・保健《成人・高齢者保健(生活習慣病)》・小テスト						
6	復習・保健《高齢者の保健と福祉・精神保健》、重要ポイント再確認・小テスト					中間テスト20点	
7	中間テスト						
8	環境衛生の概要《環境衛生の内容、目的と意義》						
9	復習・空気環境《空気と健康》・小テスト						
10	復習・空気環境《温熱環境と健康》					5点	
11	復習・衣服、住居の衛生《採光と照明》・小テスト						
12	復習・住居の衛生《冷暖房》・上下水道					5点	
13	廃棄物・衛生害虫・定期テスト対策・小テスト						
14	定期テスト					定期テスト60点	
15	定期テスト解答解説・総まとめ						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	化粧品化学	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松園 剛
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日3限 月曜日4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>国家試験を意識し、過去問、演習問題を解いていながら理解を深め、国試合格を目指していきます。 就職先でのサロンワークにも知識として活かせるよう、身近なもの関連付けながら学んだことを定着できるよう授業を展開します。</p> <p>&lt;教員紹介&gt; 20年以上の美容師経験を持つ教員が担当する。その経験をもとに、現場で使用する製品についての理解を深める授業を行う。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
教科書の内容を国家試験の出題傾向や、問題の出方を把握。最終的に合格出来るレベルになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行 化粧品化学・プリント(授業に応じて配布)							
回	授業概要					テスト配点	
1	スキンケア製品						
2	スキンケア製品					5点	
3	メイクアップ製品						
4	メイクアップ製品					5点	
5	メイクアップ製品						
6	中間テスト前復習・演習					中間テスト20点	
7	中間テスト						
8	ヘアケア製品						
9	パーマ剤						
10	カラー剤					5点	
11	スキャルプ製品・育毛剤						
12	総合問題					5点	
13	総合問題						
14	定期テスト					定期テスト60点	
15	定期テスト 解説						
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	保健	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	米山 乃生子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	月曜日3限 月曜日4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>人体を取扱う職業人として必要な身体の形(構造)=解剖学と身体の働き(機能)=生理学を楽しみながら学び、実務に生かすことができる。</p> <p>&lt;教員紹介&gt; 病院での臨床経験を持った教員がその知見を活かし、人体に関する授業を行う。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>美容とは美しく変容させること。 美しさとは内側と外側の連携にて表れる現象です。 お客様の健康や栄養、静養方法などの相談に応えられる美容師を目指す。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行 保健							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	「血液循環」「リンパ系」の復習						
2	「呼吸器系」の復習					5点	
3	「神経系」「感覚器系」の復習						
4	「筋系」の復習					5点	
5	「骨格器系」の復習						
6	「頭頸部の体表解剖学」の復習					中間テスト20点	
7	ホルモンを分泌する器官とホルモン、ホルモンバランスと男女差						
8	「皮膚と皮膚付属器官の構造」復習						
9	「皮膚と皮膚付属器官の機能」の復習						
10	「体内病変と皮膚、皮膚に症状が出る全身疾患」の復習					5点	
11	「精神と皮膚」「抜毛癖・咬爪症」						
12	「皮膚の腫瘍」「がん」					5点	
13	保健学「人体の構造及び機能・皮膚科学」定期試験(模擬試験①)						
14	保健学「人体の構造及び機能・皮膚科学」定期試験(模擬試験②)						
15	保健学「人体の構造及び機能・皮膚科学」定期試験(本試験)					定期テスト60点	
【特記事項】 [持ち物リスト] ・ノート ・プリントを保存するファイル ・筆記用具(シャープペン、マーカー) あると良い:4色ボールペンと修正テープ				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	美容実習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	浅川 多加美
学科・コース	美容師科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分	後期
						曜日・時間	火曜日1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
目的:美容国家試験で必要とされる実技課題を製作するために欠かせない、技術・理論を学ぶ。 概要:この科目では、将来使うと思われる技術のベースとなる基礎を身に着けながら、国家試験実技合格レベルに到達、美容師免許習得に欠かせない重要かつ基本的なスキルを習得する。							
(教員経歴) ヘアサロンで美容師として勤務していた教員が、将来実践の現場で活用できる技術、知識を基礎から応用まで習得できる授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
規定タイム内で、合格基準を満たす作品を作ることが出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
国家試験課題道具一式							
回	授業概要					テスト配点	
1	授業の内容説明および作業準備、CUT技術の確認、作業手順①						
2	CUT作業手順②					5点	
3	CUT作業手順③						
4	CUT国家試験タイム取り 20分					5点	
5	CUT国家試験タイム取り 20分						
6	オールウェーブ1段目から5段目カールまでの復習					中間テスト20点	
7	オールウェーブ6段目・7段目リフトカールの復習						
8	オールウェーブリフトカールのステムとシェーブ・ピニング復習						
9	オールウェーブタイム取り 25分						
10	オールウェーブタイム取り 25分					5点	
11	ワインディングの正確な巻き方を確認する。全頭20分で仕上げる						
12	ワインディングのブロッキング強化、配列の復習と確認。全頭20分で仕上げる					5点	
13	ワインディングの上巻きの強化。全頭20分で仕上げる						
14	ワインディングの下巻きの強化。全頭20分で仕上げる						
15	ワインディングの国家試験の採点を覚える。全頭20分で仕上げる					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	文化論	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松園 剛
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜日1限 水曜日2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
文化論教員資格認定を受けた教員が、美容文化論の講義をする。理容業、美容業の歴史を理解し、さらに髪型、化粧、服装の変遷流行を学ぶ。そこに見える風俗と時代背景とのつながりを読み解き、流行のメカニズムを知り、これからの時代のデザインを起こすヒントを得る。文化論は美容師国家試験科目であり意欲をもって取り組み修得するものとする。							
<教員経歴> 20年以上の美容師経験を持つ教員が担当。その経験をもとに、歴史理解から流行の移り変わりについての授業を行う。							
【授業を通じての到達目標】							
西洋のファッション文化史を、古代エジプト～現代2010年までを修得する。礼装の種類を覚える。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
日本理容美容教育センター発行 文化論							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	第4章 1古代エジプト 2ギリシャ・ローマ 3ゲルマン						
2	第4章 4中世ヨーロッパ					5点	
3	第4章 5近世(16世紀)6近世Ⅱ(17世紀)7近世Ⅲ(18世紀)						
4	第4章 8近代Ⅰ 9近代Ⅱ 10現代Ⅰ 11現代Ⅱ					5点	
5	第4章 12現代Ⅲ 13現代Ⅳ14現代Ⅴ 15現代Ⅵ 16現代Ⅶ						
6	中間試験 対策授業					中間テスト20点	
7	中間試験 第4章より設問						
8	大5章 礼装の種類						
9	全範囲 練習問題・回答・解説						
10	全範囲 練習問題・回答・解説					5点	
11	全範囲 練習問題・回答・解説						
12	全範囲 練習問題・回答・解説					5点	
13	定期試験 対策授業 前編						
14	定期試験 対策授業 後編						
15	定期試験 第1章～第6章までの国家試験レベルの問題					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名	就職講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	板橋 美波
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
						曜日・時間	水曜日1限 水曜日2限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>目的:美容師(職業人)として必要な身構え・気構え・心構えを理解し、目標に向けて、行動する事が出来る。  概要:就職に必要なマナー、一般常識、サロンワークに必要なマインドを学び、社会人としての基礎を学ぶ。  美容師国家試験筆記対策を行い、国家試験合格に向け準備をする。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>国家試験への意欲を高め、授業に臨む姿勢をつくることができる。  就職活動が活発になり、意欲的に取り組むことができる。  学校行事を通して目標設定やスケジュール管理を行えるようになる。国家試験の概要を理解し、必要な知識を身につけていく。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
iPad							
回	授業概要					テスト配点	
1	漢字の読み書き、一般常識問題(時事)						
2	サロンで使用する語学研究、一般常識問題(時事)					5点	
3	国家試験筆記問題						
4	国家試験筆記問題					5点	
5	漢字の読み書き、一般常識問題(時事)						
6	サロンで使用する語学研究、一般常識問題(時事)					中間テスト20点	
7	国家試験筆記問題						
8	国家試験筆記問題						
9	計算問題(カラー剤計算)						
10	計算問題(カラー剤計算)					5点	
11	国家試験筆記問題						
12	国家試験筆記問題					5点	
13	国家試験筆記問題						
14	国家試験筆記問題						
15	国家試験筆記問題					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	国家試験対策	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	飯野大輔 赤羽晴美
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	150 (5)	開講区分	後期
						曜日・時間	木曜日1～4限
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
目的:国家試験合格に向けた集中授業を行う							
【授業を通じての到達目標】							
国試合格レベルに仕上げる、タイム内に仕上げる事ができる、衛生を理解し本番同様に準備することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
国家試験課題道具一式							
回	授業概要					テスト配点	
1	国家試験実技衛生対策						
2	国家試験実技衛生対策					5点	
3	国家試験実技衛生対策						
4	第一課題、第二課題タイム取り					5点	
5	第一課題、第二課題タイム取り						
6	国家試験実技衛生対策					中間テスト20点	
7	国家試験実技衛生対策						
8	第一課題、第二課題タイム取り						
9	第一課題、第二課題タイム取り						
10	第一課題、第二課題タイム取り					5点	
11	国家試験実技衛生対策						
12	国家試験実技衛生対策					5点	
13	第一課題、第二課題タイム取り						
14	第一課題、第二課題タイム取り						
15	第一課題、第二課題タイム取り					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名	美容総合技術	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐々木 綾香
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	金曜日3,4限
<p>【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>目的:1年次に学んだ基礎技術の応用、スタイリング、撮影技術の向上。  概要:作品撮り、スタイリングの応用技術を学び感性を養うことができる。卒業後に生かせる技術を習得し、即戦力として活躍できるスキルを磨く。  国家試験課題に取り組み、合格基準を目指す。</p> <p>&lt;教員紹介&gt;  ヘアサロンにて美容師として勤務していた教員が担当する。その経験をもとに現場で求められる最新の技術・知識、国家試験合格に向けた授業を行う。</p>							
<p>【授業を通じての到達目標】</p> <p>学生1人1人がイメージしたものを具現化し、形にすることができる。  国家試験合格基準を理解し、タイム内に収めることができる。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
国家試験課題道具一式							
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	国家試験実技衛生対策						
2	国家試験実技衛生対策					5点	
3	国家試験実技衛生対策						
4	CUTタイム取り 20分					5点	
5	CUTタイム取り 20分						
6	国家試験実技衛生対策					中間テスト20点	
7	国家試験実技衛生対策						
8	オールウェーブタイム取り 25分						
9	オールウェーブタイム取り 25分						
10	オールウェーブタイム取り 25分					5点	
11	国家試験実技衛生対策						
12	国家試験実技衛生対策					5点	
13	ワインディングタイム取り 20分						
14	ワインディングタイム取り 20分						
15	ワインディングタイム取り 20分					定期テスト60点	
【特記事項】				<p>【評価について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価  A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)  D評価(60~69点)  E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法  評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			